学校番号	204

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「精選　言語文化」　（第一学習社）						
副教材等	新訂版最新国語便覧（浜島書店）これからの古典文法（尚文出版） 古典文法クリアノート（尚文出版）新版高校国語入門標準編（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「言語文化」では、言語活動を通して我が国の言語文化に関わり、国語で的確に理解し効果的に表現する、基礎的な力を養います。語彙力をつけるための小テストなども実施しますので、地道な努力を惜しまず取り組みましょう。教科書や副読本・ノートなどの学習用具は毎回忘れずに持参してください。
・指示された予習は必ず行いましょう。授業の後には、内容を振り返って理解できたこと・疑問に思ったことなどを整理し、復習してください。
・授業中に、音読をしたり、調べたことをまとめ発表したりする機会を設けます。積極的な取り組みや発言を期待します。
・提出物の期限は必ず守りましょう。小テスト及び定期考査には学習計画を立てて臨んでください。
皆さんが日々自分で計画を立て、主体的に学ぶことが大切です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・古典のことばも含め、広く社会生活に必要かつ深く共感したり豊かに想像したりするために必要な基本的語彙や国語知識は身に付いたかどうか。
【思考力、判断力、表現力等】
・古典のことばと現代のことばのつながりについて理解し、内容を解釈できているかどうか。
・作品理解を通してものの見方・考え方を深め、我が国の言語文化について理解が深まったかどうか。
【学びに向かう力、人間性等】
・毎時間学習用具持って授業に出席し、その日の授業内容を理解しているかどうか。
・さまざまな課題に主体的に取り組み、期限内に仕上げて提出することができるか。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ことばによる文化の継承・発展・創造について知り、我が国の言語文化を理解するのに必要な、文化的背景やことばのきまりなど国語の基礎的な知識や語彙力を身につけ、古典の世界に親しもうとしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、文章の種類をふまえて内容を解釈し、共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えや感じたことを様々な言語活動を通して表現しようとしている。	言語文化の理解を通して積極的に作品に親しみ、ものの見方・感じ方・考え方や、ことばの持つ価値への認識を深めようとしていると共に、言語感覚やことばの効果的な使い方を身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	近現代の詩と散文 ［教材］ 詩「甃のうへ」「Ｉ　ｗａｓ　born」	ａ：近代以降の文章を読み、内容を理解し、場面ごとの心情の変化を読み取ろうとしている。 ｂ［　読　］：近現代の韻文を鑑賞し、ことばのリズムや表記の特徴を理解する ｃ：　ことばの紡ぎ出す豊かな世界にふれ、身近な言語文化に親しもうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ノート	振り返りシート 提出物
	古文に親しむ ［教材］ 「児のそら寝」「絵仏師良秀」	ａ：文語のきまりの基礎を理解する。 ｂ［　読　］：古文の仮名づかいを理解し、文体の違いに注目して読むことができる。 ｃ：　古文と現代文の違いにふれ、古文の学習に意欲を持って取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ノート	振り返りシート 提出物
	近現代の短歌と俳句 ［教材］ 「その子二十」「こころの帆」	ａ：近代の代表的な短歌や俳句を学び、理解を深めることができる。 ｂ［　読　］：作品における比喩や象徴の役割について理解を深めることができる。 ｃ：進んで短歌の面白さを捉え、楽しみを知ろうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ノート	振り返りシート 提出物
二学期	歌物語と和歌 ［教材］ 『伊勢物語』 「芥川」「筒井筒」 「古典の和歌を現代の言葉で置き換える」俵万智	ａ：　歌物語を知り、和歌を含む文章の内容を正しく読みることができる。 ｂ［　読　］：歌物語の構成や展開を把握し、和歌の持つ意味内容を理解することができる。また、現代語で書かれた随筆を読み、古語と現代語の関わりについて読み取り、考察することができる。 ｃ：現代語と古語の表現や意味の変化について興味を持ち、古文特有の語彙を正しく理解しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	振り返りシート 提出物
	日記文学にふれる ［教材］ 『土佐日記』 「門出」「亡児」「帰京」	ａ：かな文字の捉え方を知り、作者・社会との関係について理解を深めることができる ｂ［　書　］：作者の心情や執筆意図を理解・考察し、それに対する自分の意見や感想をまとめることができる。 ｃ：作者について興味を持ち、表現のすぐれた部分を進んで味わおうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ノート	振り返りシート 発表
三学期	軍記物語と歴史 ［教材］ 『平家物語』 「祇園精舎」「木曾最期」	ａ：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などの理解を深めることができる。 ｂ［　書　］：歴史の中に生きる登場人物の心情を読み取り、意見や感想をまとめることができる ｃ：ことばのリズムを味わい、歴史の中の人間の生き方について考えようとしている	小テスト 定期考査	定期考査 ノート	振り返りシート 提出物
	漢文に親しむ ［教材］ 「故事成語の由来と意味を調べる」「蛇足」「論語」	ａ：漢文訓読のきまりを理解し、その口調やリズムに親しむことができる。 ｂ［　読　］：漢文の名言に親しみ、内容を理解し、現代との関わりについて考えを深めることができる。 ｃ：故事成語の由来を知り我が国と外国との関係について積極的に理解しようとしている	小テスト 定期考査	定期考査 ノート	振り返りシート 提出物

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間
・書くこと　…　（　１０　）時間
・読むこと　…　（　６０　）時間